

パイロット・ウォッチの85年にわたるレガシー

「スペシャル・パイロット・ウォッチ」、軍用観測時計およびナビゲーション・ウォッチの先進的な機能性から最先端のパイロット・ウォッチまで、IWCは、コックピット用の精密かつ堅牢な計測機器としての製造に関する幅広く高度な専門性を持っています。

飛行前にまるでジェット燃料を感じた時のように冒険を予感させるIWCのパイロット・ウォッチは、着用するすべての人に格別でエレガントな演出によって空を飛ぶことの高揚感を高めます。パイロット・ウォッチは元々、コックピット用の信頼性の高い高精度の計測機器として設計されたものですが、どんなシーンでもその人に最適なパートナーとして寄り添うスポーツウォッチとして愛用されています。

IWCのパイロット・ウォッチの歴史は航空の黎明期まで遡ります。当時、正確な腕時計はコックピットに欠かせない計測機器であり、ときにパイロットの命にも関わる非常に重要なものでした。主に飛行時間やエンジンの駆動時間の計測に使用されていましたが、有視界飛行時のナビゲーションにも役立てられていました。六分儀と高精度の腕時計を組み合わせれば、天文航法を利用して現在位置を特定することができます。

IWCは、飛行士の要件に合わせて設計した計測機器製造の草分け的存在です。1936年、シャフハウゼンで「スペシャル・パイロット・ウォッチ」(Ref. IW436)の開発が行われました。このプロジェクトは、当時のIWCの社長であったエルンスト・ヤコブ・ホームバーガーの息子たちの発案によるものでした。2人とも自身が情熱的なパイロットでパイロット・ウォッチはどうあるべきかを良く知っており、この新しい設計には、耐磁性を備えたムーブメントおよび飛散防止ガラスを用いた風防などの技術的な特徴がありました。さらに、-40 °Cから+40 °Cまでの温度範囲で何の問題もなく作動するという、暖房機能が備わっていなかった当時のコックピットでは非常に重要な利点もありました。

ビッグ・パイロット・ウォッチ・キャリバー52 T.S.G. (Ref. IW431) は、1940年に軍用観測時計に求められる厳格な要件に合わせて開発され、後のビッグ・パイロット・ウォッチのデザインのインスピレーションの源となりました。ケース径55 mm、厚さ16.5 mm、重さ183 gと、IWCが今日までに手掛けた中で最も大型の腕時計です。ミニマリスト・デザインの文字盤がコックピット内の視認性に優れた計器類を思わせるデザインで、特徴的な円錐型リューズは、パイロットがフライトグローブを着用した状態でも操作しやすい形状になっており、今日の最新のビッグ・パイロット・ウォッチのデザインにも引き継がれています。

シャフハウゼンで製造された最も有名なパイロット・ウォッチは1948年に誕生しています。IWCは、英国空軍(RAF)の依頼を受け、キャリバー89をベースにしてこの航法士用の腕時計マーク11を開発しました。このときの重要な要件のひとつがムーブメントを磁場から保護することでした。当時使用されていたレーダー装置は、時計の歩度に支障を与えるほど強力な電磁場を発生させるものでした。この問題に対するIWCの対策は、軟鉄製のインナーケースを開発し、さらにケース上部を耐磁性の文字盤で覆うことでした。これにより、ファラデーケージのようにムーブメントの周囲に放射される磁気を低減します。もうひとつの独自の機能が非常にしっかりと固定された風防で、コックピット内で急激な気圧の低下が起こったとしてもまったく緩むことはありません。視認性の高く、シンプルにすぎるとした文字盤は、表示部分に夜光塗料が施され、視界状況にかかわらず、パイロットが常に容易に時刻を読み取れるようになっていきます。

現代的なパイロット・ウォッチの時代は1992年シャフハウゼンで始まりました。IWCのエンジニア陣は、わずか数週間という記録的な短期間で、バルジュー社のキャリバー7750をベースにしたダブルクロノグラフの開発をやっつけ、同時に2つの短い経過時間を測定することを可能にしました。同時に、IWCは、この**パイロット・ウォッチ・ダブルクロノグラフ** (Ref. IW3711) の開発によって、耐久性に優れた高精度クロノグラフの専門としての地位を確立しました。そしてその評価は今日までまったく変わりません。IWCは、パイロット・ウォッチにいち早く革新的な新しいケース素材を導入したブランドでもあります。1994年に製造された、ブラックの酸化ジルコニア・セラミック製ケースの**パイロット・ウォッチ・クロノグラフ・セラミック** (Ref. IW3705) は、この頑丈で耐擦過性に優れた素材を初めて採用したパイロット・ウォッチです。999個限定生産のため、現在このクロノグラフはコレクターの間で非常に人気の高いモデルとなっています。

IWCは、2002年に**ビッグ・パイロット・ウォッチ** (Ref. IW5002) の発売でひとつの大きな節目を迎えました。機能的な軍用観測時計からインスピレーションを得た、コックピット用計測機器に特有の視認性の高いデザインのクロノグラフの文字盤と46.2 mmの大型ケースは、以来、極めて象徴的な要素となっています。多数の、そして時に大胆な特別限定モデルが登場し、今やビッグ・パイロット・ウォッチは世界で最も有名なウォッチ・デザインのひとつに数えられるまでになりました。

2007年、IWCはダブルクロノグラフとブラックの酸化ジルコニア・セラミック製ケースを組み合わせたモデルを発売しました。**パイロット・ウォッチ・ダブルクロノグラフ・トップガン** (Ref. IW379901) の名前は、米海軍伝説の

戦闘機兵器学校 (トップガン) に因んでいます。そこは米海軍のパイロットたちが飛行技術や戦術を磨く場所であり、彼らは修了後、「海軍戦闘機戦術教育的立場」という名誉ある立場で部隊に戻ります。トップガン・モデルには、海軍航空でかかる極限の負荷に耐えられるよう、チタニウムやセラミックなどの特に耐久性、耐腐食性に優れた素材が使用されています。ブラックのセラミックは光の反射を完全に防止するため、太陽光の反射によってコックピットのパイロットの視認性を妨げることがありません。また傷が付きにくい高い素材でもあるため、狭いコックピット内での日常的な使用に特に適しています。

2019年、IWCは、セラタニウム[®]製のケースを採用した初の**パイロット・ウォッチ・パイロット・ウォッチ・ダブルクロノグラフ・トップガン・セラタニウム**を発売しました。このIWCが開発した画期的な素材は、チタニウムと同等の軽さと堅牢性にセラミックと同等の硬度を併せ持ち、傷が付きにくいという特性を備えています。さらに肌への刺激が少なく、マットブラックの色合いが目を引きま

IWCは、米海軍のトップパイロット向けにパイロット・ウォッチの開発ライセンスを供与されているスイスで唯一の時計メーカーです。これまでに、米海軍第102戦闘攻撃飛行隊「ダイヤモンドボックス」および第211戦闘攻撃飛行隊「フライングチェックメイト」のための時計を設計しました。現在も、1936年とまったく同じように、トップクラスのパイロットの緊密な協力を得てパイロット・ウォッチを開発中です。日常の任務におけるパイロット・ウォッチの使い方に関するパイロットからの意見は、85年を経た今もなお、時計の設計を改善し、完成度を高めるうえでIWCのエンジニア陣にとって大いに参考になっています。

IWCシャフハウゼン

1868年、米国の時計技師であり、起業家でもあったフロレンタイン・アリオスト・ジョーンズはボストンからスイスへ渡り、シャフハウゼンに「インターナショナル・ウォッチ・カンパニー」を設立しました。彼が描いた夢は、先進的なアメリカの製造方法とスイスの時計技師たちが持つ優れた職人技を組み合わせ、その時代の最高の懐中時計を作ることでした。そして彼はIWCの独創的なエンジニアリング手法の基礎を築き上げ、スイスの地で機械式時計の集中生産を確立しました。

IWCシャフハウゼンは150年にわたる歴史の中で、正確かつ頑丈で、顧客にとって使いやすいクロノグラフやカレンダーなどの機能を組み合わせた時計を生み出すことで高い名声を得てきました。またIWCは、チタンやセラミックなどの素材の先駆者であり、チタンアルミやセラタニウム[®]などの先進的な素材を用いたテクニカルウォッチケースの製造もおこなっています。華美な装飾よりも「形態は機能に従う」という原則を優先するスイス時計メーカーとして、時代を超越した製品への思いは、まさに人生を旅するオーナーたちの夢と志を体現しています。

IWCは、責任を持って素材を調達し、環境への影響を最小限に抑える措置を講じながら、何世代にもわたり受け継がれる持続可能な時計を生み出しています。また、すべての従業員に快適な職場環境を提供し、誇りをもって未来を担う時計職人とエンジニアたちへのトレーニングを実施しています。さらに、IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動している組織とも提携しています。

ダウンロード

画像はpress.iwc.comでダウンロードいただけます。

お問い合わせ

IWCシャフハウゼン

広報部門

Email press-iwc@iwc.com

Website press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

Website iwc.com/ja

Facebook facebook.com/IWCWatches

YouTube youtube.com/iwcwatches

Twitter twitter.com/iwc

LinkedIn [linkedin.com/company/
iwc-schaffhausen](https://linkedin.com/company/iwc-schaffhausen)

Instagram instagram.com/iwcwatches_jp

Pinterest pinterest.com/iwcwatches